

年間指導計画表(シラバス)

科目名	公民・公共	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	(1) 現代の複雑な事象を紐解くために、基礎的・基本的な問題に立ち返りながら問題を多角的に分析し、問題の要点を整理することができる。 (2) 事実に基づきながら、修得した概念を活用し、様々な側面、角度から現代の諸事象をとらえることができる。また、形成した意見を他者に効果的に伝えることができる。 (3) 修得した知見を未知の問題に適用し、意欲的に解決を試みることができる。
使用教科書 副教材等	高等学校 新公共(第一学習社) 新公共ノート(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代の複雑な事象を紐解くために、基礎的・基本的な問題に立ち返りながら問題を多角的に分析し、問題の要点を整理することができる。	事実に基づきながら、修得した概念を活用し、様々な側面、角度から現代の諸事象をとらえることができる。また、形成した意見を他者に効果的に伝えることができる。	修得した知見を未知の問題に適用し、意欲的に解決を試みようとする。
評価点	280 点	280 点	280 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理 第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 第2章 政治的な主体となる私たち	・定期考査等 ・ワークノート	・定期考査等 ・ワークノート	・ワークノート ・コメントシート
		140点	140 点	140点
後期	第3章 経済的な主体となる私たち 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・定期考査等 ・ワークノート	・定期考査等 ・ワークノート	・ワークノート ・コメントシート
		140点	140 点	140点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち ① 個人の尊厳と自主・自律 ② 伝統文化とのかかわり ③ 自立した主体をめざして	4
	5	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理 ① 平等、個人の尊重 ② 民主主義と法の支配 ③ 日本国憲法に生きる基本的原理	4 4
	6	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち ① 法と基本的人権 ③ 自由に生きる権利と法・規範 ④ 平等に生きる権利と法・規範 ⑤ 安全で豊かに生きる権利と法・規範	4
		前期中間審査	1
		契約と消費者の権利・責任 ① さまざまな契約と法 ② 消費者の権利と責任	2
		司法参加の意義 ① 裁判所と司法 ② 国民の司法参加	
	7	第2章 政治的な主体となる私たち 政治参加と公正な世論形成 ① 国会と立法 ② 内閣と行政 ③ 地方自治と住民福祉 ④ 選挙制度の現状と課題	12
	8	国際社会と国家主権 ① 国家と国際法 ② 国境と領土問題 ③ 国際連合の役割と課題	
	9	日本の安全保障と防衛 国際社会の変化と日本の役割	
		前期期末審査	1
		前期の学習のまとめ	3
後期	10	第3章 経済的な主体となる私たち 雇用と労働問題 ① 私たちと経済 ② 労働者と権利 ③ 労働環境と課題 社会の変化と職業観 ① 現代の企業 ② 中小企業の現状と役割 ③ 日本の農林水産業	16
	11	市場経済の機能と限界 ① 市場経済と市場のしくみ ② 国民所得と私たちの生活 ③ 経済成長と国民の福祉	
	12	後期中間審査	1
		金融のはたらき ① 金融の意義と役割 ② 金融制度の現状と課題	13
	1	財政の役割と社会保障 ① 財政のしくみと租税 ② 日本の財政の課題 ③ 社会保障と国民福祉	
	2	経済のグローバル化 ① 国際分業と貿易 ② 外国為替とグローバル経済 ③ 地域的経済統合	
		第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	2
		後期期末審査	1
	3	後期の学習のまとめ	2

5 その他

公共は、政治・経済の初歩としての性格が強い科目です。本科目は現代の社会を考察しますが、社会は1つの要素だけでは成立しておらず、数学、理科、国語、歴史など様々な視点から考察することが要求されます。総合格闘技のような複雑な現代社会を観察するために、“どこから”、“何を”、“見る”のかを絶えず意識することを授業では求めます。またクラスルームの加入、本校指定条件を満たした情報端末(iPad)の持参を必須とします(iPad がない場合は要相談)。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	公民・倫理	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・3年次

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1) 先哲がどのような問題意識を抱いて思索を深めたかという思想背景を理解することができる。また、先哲の固有な考えや概念、言葉を適切に理解し、自己の表現において効果的に引用・参照、まとめることができる。 (2) 正解が一つに定まらない現代の諸課題に対して、既習の知識や身に付けた考え方を活用して、多面的・多角的な考察をすることができる。 (3) 人間としての在り方や生き方に関する先哲の考えや、邦訳された原典に意欲的に触れ、広い視野に立って自己の課題や社会的な課題への思索を深めることができる。
使用教科書 副教材等	高等学校 倫理(第一学習社) 倫理ノート(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	先哲がどのような問題意識を抱いて思索を深めたかという思想背景を理解することができる。また、先哲の固有な考えや概念、言葉を適切に理解し、自己の表現において効果的に引用・参照、まとめることができる。	正解が一つに定まらない現代の諸課題に対して、既習の知識や身に付けた考え方を活用して、多面的・多角的な考察をすることができる。	人間としての在り方や生き方に関する先哲の考えや、邦訳された原典に意欲的に触れ、広い視野に立って自己の課題や社会的な課題への思索を深めようとする。
評価点	140点	140点	140点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としてのあり方生き方 第1章 人間の心と自己形成 第2章 人間の存在や価値と宗教 第3章 人間のあり方と社会 第4章 現代の人間と社会をとらえる思想	・定期考査等 ・ワークノート	・定期考査等 ・レポート	・授業内の行動観察 ・レポート
	評価点	70点	70点	70点
後期	第4章 現代の人間と社会をとらえる思想 第5章 国際社会に生きる日本人としての自覚 第2編 現代の諸課題と倫理 第1章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 第2章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理	・定期考査等 ・ワークノート	・定期考査等 ・レポート	・授業内の行動観察 ・レポート
	評価点	70点	70点	70点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期		〔レポートテーマ:学校とはどのような場所か?〕	
	4	レポートの書き方について	4
	5	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としてのあり方生き方 第1章 人間の心と自己形成	8
	6	第2章 人間の存在や価値と宗教	7
	7	第3章 人間のあり方と社会	8
	8	第4章 現代の人間と社会をとらえる思想	4
	9		
		 前期期末考査 前期の学習のまとめ	1 3
後期		〔レポートテーマ:日本に固有の思想はあるのか?〕	
	10	第4章 現代の人間と社会をとらえる思想	8
	11 12	第5章 国際社会に生きる日本人としての自覚	14
	1	第2編 現代の諸課題と倫理 第1章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理	6
	2	第2章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理	4
		 後期期末考査	1
	3	後期の学習のまとめ	2

5 その他

倫理では、“考える”ということについて考えます。情報を得るために文章を“精確に読む”こと、自らの思考を整理し深化させるために“論理的に書く”ことを授業では高い頻度で行います。このような言語活動を通して、正解のない問題に出会ったときに自分なりに思考する知的持久力を高めます。国語、世界史、日本史、地理、数学、理科、芸術などすべての科目に通じる思考トレーニング科目が倫理です。またクラスルームの加入、本校指定条件を満たした情報端末(iPad)の持参を必須とします(iPad がない場合は要相談)。前期/後期で 2000 字のレポートを計4回実施します。中間考査は実施しません。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	公民・政治・経済	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・3年次

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1) 現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、それらの知識を活用することができる。 (2) 現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現することができる。 (3) 現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察することができる。
使用教科書 副教材等	政治・経済(東京書籍) 要点マスター政治・経済 整理と演習(東京書籍)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、それらの知識を活用することができる。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現することができる。	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとする。
評価点	280点	280点	280点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 第2章 現代の経済	・定期考査等 ・ワークノート	・定期考査等 ・ワークノート	・授業内の行動観察 ・ワークノート
	評価点	140点	140点	140点
後期	第1編 現代日本の政治と経済 第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 第2章 現代の国際経済 第3章 国際社会の諸課題	・定期考査等 ・ワークノート	・定期考査等 ・ワークノート	・授業内の行動観察 ・ワークノート
	評価点	140点	140点	140点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則 ① 民主政治の成立 ② 法と民主政治 ③ 基本的人権の確立 ④ 現代の民主政治 2節 日本国憲法の基本原則 ① 日本国憲法の制定と基本原則 ② 基本的人権の保障 ③ 平和主義 3節 日本の政治機構 ① 国会と立法 ② 内閣と行政 ③ 裁判所と司法 ④ 地方自治 4節 現代政治の特質と課題 ① 戦後政治と政党 ② 選挙と政治意識 ③ 世論と政治参加 第2章 現代の経済 1節 現代の資本主義経済 ① 資本主義体制の成立 ② 資本主義経済の発展と変容	16
	5	前期中間審査	1
	6	2節 現代経済のしくみ ① 経済主体と経済の循環 ② 生産のしくみと企業 ③ 市場経済の機能と限界 3節 日本経済の発展と現状 ① 戦後日本経済の発展 ② 日本経済の現状 4節 福祉社会と日本経済の課題 ① 公害と環境保全 ② 農業・食料問題 ③ 中小企業の現状と課題	14
	7	前期期末審査	1
	8	前期の学習のまとめ	3
	9		
後期	10	第3章 現代日本の諸課題 ① 少子高齢社会における社会保障 ② 地域社会の活性化 ③ 中小企業の意義と課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 1節 国際政治のしくみ ① 国際政治の特質 ② 国際社会と国際法 ③ 国際連合の役割と課題 2節 複雑化する国際政治と日本 ① 戦後国際関係の展開と日本 ② 冷戦後の国際関係と日本 ③ 地域主義の動き	16
	11	後期中間審査	1
	12	第2章 現代の国際経済 1節 国民経済と国際経済 ① 貿易と国際収支 ② 戦後国際経済体制の展開 ③ 発展途上国の経済 2節 世界経済の現状と課題 ① グローバル化する世界経済 ② 地球環境問題 ③ 資源・エネルギー問題 ④ 人口・貧困・感染症 第3章 国際社会の諸課題 ① グローバル化に伴う社会変容 ② 国際的な経済格差の是正	5
	1	後期期末審査	10
	2	後期の学習のまとめ	1
	3		2

5 その他

現代政治は多種多様な視点から現代の諸現象を分析する科目です。

特に、前期では国家はどうやって作るか、なぜ国家は個人の権利に介入できる/介入できないのかという視点を持ち、後期では数学的な発想から現代社会の諸現象をとらえることを主な活動とします。

調べ学習や統計データの活用のために iPad を持参してください。